

平成 27 年度第 11 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 27 年 12 月 24 日（木） 13:00～13:20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 三重県教育施策大綱（仮称）最終案について

●福永ひとづくり政策総括監【戦略企画部】（資料 1 に基づき説明）

中間案からの主な変更点は次のとおり。

総論部分では、三重の教育における 6 つの基本方針で、「生涯現役・全員参加型社会」を「生涯現役・参画型社会」に、「時を越えた協創」を「時をつなぐ協創」に、それぞれ変更。「生き抜いていく力」の育成のところで、「共生」に関する記述を充実。

各論部分では、これから注力していく家庭教育、幼児教育に関する施策の取組の記述を充実。さらに、サミット開催、子ども貧困対策計画の策定、COC+（シーオーシープラス）事業の採択などを踏まえ、取組の記述を加筆。

大綱の策定は 3 月を予定。

（質疑等なし）

議題 2 ワーク・ライフ・マネジメントの上半期の検証について

●中野課長【行財政改革推進課】（資料 2 に基づき説明）

12 月 1 日に中央労協を実施した。進捗状況については、10 月の政策会議で示した速報値から大きな変更は無く、時間外勤務時間は目標を上回っているものの、超長時間勤務者数及び年休取得時間等は目標を達成できる見込みである。

全体としてワーク・ライフ・マネジメントは、おおむね順調に推進されているものの、部局によるばらつきなど課題も見受けられることから、優良事例の横展開の他、マインドの醸成に向けて、趣旨や目的等を浸透させるための工夫が求められる。また、部局長等が各所属長と連携し、県民サービスの維持・向上に向けて意欲的な事業見直しが取り組まれるような仕組み等も求められる。

下半期の検証スケジュールについては、すでに 12 月末時点の目標の進捗状況の報告をお願いしており、その結果を踏まえ、1 月以降職場労協等で検証していく予定としている。

☆植田副知事

年間見込が目標を上回っており対目標が 100%を越えている部局は、100%を切るよう取り組んでいただきたい。

議題3 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●竹内部長【戦略企画部】(資料3に基づき説明)

資料3の「県民の声を受けて」公表分の概要では、12月1日及び同月16日付けの県ホームページ公表分については、県民の声の件数は60件で、県の対応件数は62件であった。

3の主な内容としては、(1)の職員に関するものとして、公務員の政治活動についての提案意見が1件、交通事故相談窓口の対応についての御礼が1件寄せられている。

また、(2)の職員の気付きにつながると思われるものとして、道路規制情報の表示についての提案意見を1件あげてある。

各部局においては、内容をよく確認し、適切な対応をお願いする。

(質疑等なし)